

JGAS 2013

Japan Graphic Arts Show 2013

Tokyo, Japan/Oct. 2-5, 2013

〔事業報告書〕





CONTENTS

会長挨拶	1
開催概要・開会式	2
主催者挨拶・ご祝辞	3
主催者企画・イベント	
Print+α イベント	4
+Session	
1-1) 主催者企画	4-8
1-2) 関連団体セミナー	9-10
1-3) 出展者セミナー	10
+Tour	11
+Live Studio	12-13
+Park	14
展示会全般	
入場システム	15
出展者数および小間数・来場者数	15
来場者アンケート	16
広告宣伝	17-19
出展企業一覧	20-21
展示ホール	22-23
JGAS2013 運営機構	24



印刷機材団体協議会
会長 宮腰 巖

JGAS2013は「Print+α プリントメディアの新たな挑戦！」をテーマに、2013年10月2日（水）から10月5日（土）まで東京ビッグサイトにて開催しました。

今回のJGAS2013は、東館1～3ホールを展示スペースとして、出展者数229社、1,364小間での開催となりました。来場者数は4日間で、31,237人となりました。

また東館6ホールのイベントスペースを中心に、従来の印刷機材展にとどまらない様々な新しい企画である4つの「+α」を企画・実施しました。

+Sessionでは、ビジネスに直結するパネルディスカッション、セミナー等を開催しました。主催者企画のパネルディスカッション「デジタルプリント時代における印刷会社のとるべき戦略とは」は、400名超の参加者で会場は満席となりました。新聞社、出版社、印刷会社の方々による非常に興味深い議論が交わされました。このパネルディスカッション以外にも、全日本印刷工業組合連合会による全印工連フォーラム2013、(社)日本印刷学会によるセミナー、(公社)日本印刷技術協会によるJAGATプレミアセミナーなどが開催され、従来にない多くの方々に聴講していただき大いに盛り上がりました。

+Tourでは、JGAS2013の見どころ見学ツアーを開催しました。セミナーと会場内の見学を組み合わせ、JGAS2013の見どころ及びトレンドを解説しました。約1,500名の参加

者があり、今後もIGAS、JGASの目玉企画にしていきたいと思えます。

+Parkでは、小規模出展者を対象に、フレキシ印刷、IT/システム、アプリケーション、環境印刷、労働衛生、先進技術、Japan Color認証制度のテーマゾーンを設置しました。

+Live Studioでは、東館第6ホールにライブスタジオを開設し、連日様々なゲストを迎えてライブイベントを行いました。さらに、デジタルサイネージにより、イベント情報や見どころなどをタイムリーに発信しました。この他にも、入場システムの刷新、フードコートを設置等様々な新しい試みを行いました。

印刷業界は厳しい経済状況と、IT技術の革新および電子メディアの台頭などの激しい環境変化の波にさらされています。このような状況の中、非常に多くの方にお越しいただき、全てを成功裡に終了することができました。これもひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

JGASは、日本の印刷業界における一大イベントであるばかりでなく、世界の印刷産業発展のために非常に重要なイベントであります。今後も、日本の優れた印刷技術を世界にアピールする場としてその存在感を発揮していく必要があります。印刷機材団体協議会は、その期待にこたえるべく今後とも全力をあげる所存でございますので、引き続きご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。



開催概要

- **名称** JGAS2013(国際総合印刷機材展) Japan Graphic Arts Show
- **開催趣旨** プリプレス・印刷・紙工・デジタルグラフィック関連の最新機材を一堂に展示し、印刷産業の将来や技術動向を展望できる場を提供。併せて、印刷関連業界の活性化、発展に寄与することを目的とします。
- **テーマ** Print+α プリントメディアの新たな挑戦！
- **会期** 2013年10月2日(水)～10月5日(土) 4日間
- **開催時間** 10:00～17:00(最終日10月5日は10:00～16:00)
- **会場** 東京ビッグサイト東館 1～3ホールおよび6ホール
- **出展者数** 229社
- **展示規模** 1,364小間(約12,300m²)
- **会場総面積** 約34,300m²
- **入場料** 事前登録 1,000円 当日登録 2,000円
- **主催** 印刷機材団体協議会(Japan Graphic Arts Suppliers Committee)
- **後援** 経済産業省、東京都、日本貿易振興機構、(社)日本印刷産業連合会、(社)日本印刷学会、(公社)日本印刷技術協会、(財)デジタルコンテンツ協会、全国段ボール工業組合連合会、デジタルサイネージコンソーシアム
- **出展参加国** 日本、中国、台湾、米国、スウェーデン、スイス

開会式

JGAS2013の開会式が、経済産業省及び関係団体等の多数のご来賓の方々のご出席のもと、会期初日の10月2日9時30分から開催されました。

日時：2013年10月2日 9:30～10:00

場所：東6ホール +Live Studio



▶ 1. 開会挨拶

印刷機材団体協議会 会長	宮腰 巖
--------------	------

▶ 2. ご祝辞

経済産業省 製造産業局 産業機械課長	須藤 治 様
一般社団法人 日本印刷産業連合会 会長	足立 直樹 様

▶ 3. テープカット

経済産業省 製造産業局 産業機械課長	須藤 治 様
一般社団法人 日本印刷産業連合会 会長	足立 直樹 様
全日本印刷工業組合連合会 会長	島村 博之 様
公益社団法人 日本印刷技術協会 会長	塚田 司郎 様
印刷機材団体協議会 会長	宮腰 巖

主催者挨拶



印刷機材団体協議会
会長 宮腰 巖

JGAS2013の開会式にご出席を賜り誠にありがとうございます。ご多忙の中、経済産業省、関係諸団体、報道関係の方々の多数のご出席を賜り厚く御礼申し上げます。また、開催に向けて多大なるご支援、ご協力を賜りました関係各位に心から感謝申し上げます。

今回のテーマは「Print + α プリントメディアの新たな挑戦！」です。印刷業界は厳しい経済状況と、IT技術の革新および電子メディアの台頭などの激しい環境変化の波にさらされています。このような状況の中、従来のフレームワークにとらわれない新たな「+ α 」を創出していく必要性に迫られているという意味でこのテーマとしました。

新たな挑戦を世界に発信すべく、従来の印刷機材展に留まらず、様々な+ α を企画、実施いたします。

具体的には、ビジネスに直結するパネルディスカッション、セミナー等を行う+Session、JGASにおける見どころを解説する見学ツアーである+Tour、多彩なテーマゾーンの+Park、情報満載のライブイベントを開催する+Live Studioがあります。

229社、1,364小間の出展で東1、2、3ホールにおいて、プリプレス、印刷機械、ポストプレスの新製品、最新技術、サービスなどを一堂に展示いたします。また、東6ホールにおいては、+Session、+Live Studioの専用スペースとして、今までのIGAS、JGASにない多種多様なイベントを用意しています。さらに、全印工連フォーラム、印刷学会セミナー、JAGATプレミアセミナーなど印刷関連諸団体によるイベントも数多く開催いたします。

国内のみならず、海外からも高い関心が示されており、世界の印刷技術をリードする日本として、この期待に応えるべくJGAS2013は全力をあげる所存であります。引き続きご協力の程お願い申し上げます、開催の挨拶とさせていただきます。

ご祝辞



経済産業省 製造産業局
産業機械課長
須藤 治 様

JGAS2013の開会、誠にありがとうございます。宮腰会長を含め展示会に関われた皆様に深く敬意を表します。

JGASは国際展示会と銘打って、その名に恥じない多くの参加者を得て、活発な活動をされていると承知しております。会長挨拶で「+ α 」という言葉が何回かありましたが、印刷業界をめぐる環境は決してやさしいものではないと思っております。しかし、「+ α 」、新たなチャレンジを目指し

ご努力される皆様に経済産業省としても微力ながら精一杯応援をしていきたいと考えております。

昨日、安倍総理が経済対策を発表してまさに成長戦略の実行の時に移ってきております。内容は、設備投資の促進です。投資減税および中小企業に対する設備投資への上乗せ処置、さらに研究開発に対する減税処置拡充が盛り込まれています。

経済産業省としてもこの対策を含め少しでも皆様方の事業環境整備に努めていきますが、経済活性化の主役は皆様です。JGASにおいて、実り多い商談が行われ、明日への活力が得られるよう祈念しております。経済産業省としてもこれらのご努力に精一杯応援をしていきたいと考えております。皆様のご健勝、ご多幸、ビジネスのご発展を祈念して挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。



一般社団法人
日本印刷産業連合会
会長 足立 直樹 様

JGAS2013がかくも盛大に開催されたことお祝い申し上げます。主催者のご苦勞に対し心から敬意を表すとともに、出展メーカーの皆様に、日頃のご協力を含め厚く御礼申し上げます。

印刷は、経済停滞に伴って長く厳しい状況でしたが、アベノミクスの影響もあり好転しております。東京オリンピックも決まり、経済成長戦略も出され、道筋が通ってきており、まさに印刷の回復はこれからが本番であると考えております。

JGAS2013は、「Print + α プリントメディアの新たな挑戦！」のテーマのもと、デジタル印刷をはじめとした最新機材、サービスの展示とセミナーが用意されております。以前のように設備を

設置すれば需要がついてくる時代ではありません。JGASからお客様への提案を見つけ、資機材メーカーと一緒に需要開拓に積極的に努めていきたいと考えております。

日印産連も+Parkで環境や作業環境改善に関する出展とともに、セミナーも開催いたします。また、全印工連フォーラムを開催するなど印刷団体全体で盛り上げてまいります。

印刷は大きな転換期に入っておりますが、歴史や文化に根ざした印刷の力に加え、新しいメディアを同時に扱ってビジネスができる産業は印刷しかないと自負しております。また、全ての産業との窓口を持っており、恵まれた資産を生かすことが印刷産業の使命であり、責任であると考えております。JGAS2013の成功と皆様のご健勝、業界の発展を祈念してあいさついたします。ありがとうございました。

Print+α イベント

JGAS2013のテーマ「Print+α プリントメディアの新たな挑戦！」を来場者とともに考える場として、新たに3つのイベントを開催するとともに、テーマパークを開設しました。これらのイベントは従来の展示会にはない斬新な企画であり、一般展示と相まって最新情報を深く理解できたとご好評をいただきました。



パネルディスカッション

「デジタルプリント時代における印刷会社のとるべき戦略とは」

JGAS2013

Print+α

「4つの+α」

【イベント】

+Session



+Tour

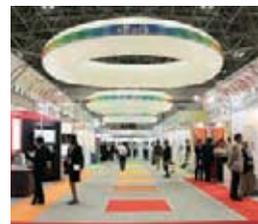


+Live Studio



【テーマパーク】

+Park



+Session

主催者企画のセミナー・パネルディスカッションに加え、全印工連、日本印刷技術協会(JAGAT)、日本印刷学会のセミナーおよびフォーラム、さらには出展者によるセミナーなど多彩なSessionが6ホール特設セミナースペースで開催されました。展示会場とも近いことから、延べ3,000人が参加して最新の詳細情報を得る場として活用されました。

▶ 1-1) 主催者企画

① パネルディスカッション

「デジタルプリント時代における印刷会社のとるべき戦略とは
～新たなチャレンジ事例に学ぶ～」

JGAS2013で最も注目を浴びているデジタル印刷機によって、印刷業界は今後どのように対応しどのように変化するかについて、すでにデジタル印刷機を導入している新聞社・出版社・

印刷会社の方々に参加いただき、(株)電通 北原利行氏と(株)パリューマシーンインターナショナル 宮本泰夫氏をモデレータにパネルディスカッションを開催し、400人を超える参加を得ました。

■開催概要

日 時：10月2日(水)10:30~12:30

場 所：東京ビッグサイト東6ホール メインセミナースペース

参加人数：約400名

タイトル：「デジタルプリント時代における印刷会社のとるべき戦略とは ～新たなチャレンジ事例にヒントを学ぶ～」

パネラー：(株)静岡新聞社 取締役 印刷局 局長 増田 晴樹 氏

(株)小学館 取締役 制作局担当 宮下 雅之 氏

(株)アスコン 代表取締役社長兼営業本部長 中原 貴裕 氏

モデレータ：(株)電通 電通総研メディアイノベーション研究部 研究主幹 北原 利行 氏

(株)バリューマシーンインターナショナル 取締役副社長 宮本 泰夫 氏



増田 晴樹 氏



宮下 雅之 氏



中原 貴裕 氏



北原 利行 氏



宮本 泰夫 氏

メディアの変化 紙から電子への移行の流れ

【増田】 新聞の部数は、新聞協会のデータでみると昨年10月で前年に比べ56万部、率にして1.17%減少し、確実に縮小方向で推移している。一方で、デジタルによる有料サービスが増加し現在20社33種類のサービスが行われているが、まだ若年層を完全に獲得するには至っていない。

【宮下】 出版界は1997年をピークに減少傾向が続いている。特に、収益源であった漫画雑誌が苦戦している。電子書籍化も進んでいるが、まだこの流れに追いついていないのが現状である。電子化が進んでも、書店に書籍があることが

重要であり、この上で電子化する展開など様々な対応が必要となっている。

【中原】 チラシの印刷を行っているが、新聞の減少もあり減少傾向が続いている。しかし、チラシの効果は小売店の販売支援に大きく貢献しており、減少した分を何らかの形で支援する必要があると考えている。

紙媒体の良さとは何か

【中原】 チラシは朝に届き、パッと見ることができると多くのメリットはあるが、スマホが普及しメディアの多様化は明らかに進んでいる。

印刷会社は、チラシを制作する際に発注者と何を売りたいか打合せを行っており、これをもとに各種メディアに展開できる立場にあり、これを生かしていきたい。

【宮下】 紙が減っているとは言え、紙はゼロになることはない。電子化が進む中で、採算が合わないものは、デジタルファーストで進めているが、成功例として13巻155万

部販売したコミック誌もあり、これからもこの流れは続くであろう。

【増田】 NIE(Newspaper in Education)、子供新聞や解説を充実したBizペーパーなど注目を浴びている。新聞を読み物として価値を高めることを進めていきたい。

【宮本】 メディアが多様化する中で、発注者や購読者が何を求めているかが重要ではないか。この答えが見つからず模索しているのが現状ではないか。

デジタル印刷の利用状況と課題

【宮下】 少部数で、印刷と同じ品質の書籍をデジタル印刷で作れないということから、導入検討を2年半前から開始した。当初連帳型のインクジェット印刷機の検討をしたが、コミックでは紙種を選ぶなどで断念し、シート型のトナー印刷機を選択した。出版物は品質要求度が高く、オンデマンドだからと言って品質低下は許されない。

【増田】 関係会社であるハワイ報知社で来年2月の本稼働を目指し進めている。オフ輪を導入することにしたが、多文化の世界であることから、29種類の新聞が発行されている一方で、平均印刷部数は7,000部と非常に少ないなどから

デジタル化で対応することにした。シカゴの新聞社で、デジタル印刷で多種類の新聞を発行して成功した例もあり、今後1万から2万部に対応できる体制を作り、需要拡大を進めたい。コスト面では、刷版不要、オペレーター減などのダウンが見込まれるが、インクの単価が高いなどアップもあり、メーカーと共同で導入を進めていきたい。

【中原】 10年先を見るとチラシ印刷だけでは会社がもたない以上、デジタル印刷を避けて通る訳にはいかない。顧客にとって必要であり、社員にとっても必要である。ならば、いくつもの山があっても避けることはできない。

デジタル印刷技術の利用 何をポイントにすべきか

【増田】 1万から2万部に対応することが最大の課題ではあるが、一方で、ランニングコスト削減ができるか。とりわけ、インクのコストダウンが重要な意味を持つてくる。

【宮下】 日本の読者は世界の中でも最も高い品質を求めている。これに対応することが最重要である。また、出版社が特長を出すため、サイズなどに凝っているが、コスト面から出版社自体も見直す必要がある。

【中原】 大手出版社でも導入する時代であり、印刷会社も動く必

要がある。その中で、メーカーに対し、ランニングコスト削減で協力してもらいたい。また、デジタル化の目的は、紙データで得た情報を他の媒体に展開することによって新規顧客の開拓などに役立つ。

【北原】 顧客が必要なものをデジタル印刷やデジタル化によって対応していくことが根底であろう。これだけでは完全とは言えないが、顧客が望んでいることをトータルで対応する仕組みを作り提供する。これが、今求められていることであろう。

② デジタルプリンターメーカープレゼンテーション

デジタルプリンターを出品した5社から、各社のデジタルプレス戦略についてのプレゼンテーションを開催した。合計で約500人が聴講しました。

セミナースペース：東6ホール メインセミナースペース

10/2 (水) 13:30~15:00	(株)小森コーポレーション	KOMORI OnDemand 印刷の未来に向けて+小森システム導入ユーザーのケーススタディ
10/3 (木) 10:30~12:00	日本ヒューレット・パカード (株)	Unleash the power of Digital -Digital driver results- デジタルの力を解き放て ~結果を生むデジタル印刷~ イノベーションをビジネスに ~印刷の常識が変わった~
10/3 (木) 13:30~15:00	富士フイルムグローバルグラフィック システムズ (株)	i-Vision Wing ~EXPAND YOUR SUCCESS~ 未来を拓く、富士フイルムのインクジェット戦略の全貌を紹介
10/5 (土) 10:30~12:00	リコージャパン (株)	リコーの考える次 ~Explore Beyond at Ricoh~
10/5 (土) 13:30~15:00	キヤノンマーケティングジャパン (株)	変革するプリントメディアとキヤノンのプロダクション戦略2013

③ Print+αセミナー

主催者企画として、Print+αセミナーを開催し、10のセミナーに延べ500名が参加しました。フレキシ関連のセミナーなどは、定員をオーバーするなど多くの方に参加いただき、関心を集めました。

日 時	内 容	講師名
10/2 (水) 15:00~16:30	顧客満足度を高める印刷会社のシステムとは	山田 秀生 氏
10/3 (木)	10:15~12:00 世界と日本のフレキシ印刷の市場展望と動向	高木 審一郎 氏
	10:30~11:30 【日印機工セミナー】 印刷産業機械の安定稼働 - 予防保全と定期メンテナンスの重要性 -	仲 正裕 氏
10/4 (金)	12:45~14:30 印刷会社の事業領域拡大と新たな事業機会 - 川下領域におけるビジネストレンド -	岩邊 久幸 氏
	10:15~12:00 【日印産連セミナー】 印刷会社のための労働衛生対策セミナー	
	12:00~12:30 【東京都中小企業振興公社セミナー】 VOCガス回収装置の紹介	渡辺 修 氏
10/5 (土)	15:00~16:30 “水性フレキシ” で軟包装市場に参入するためのポイントと準備	塚田 昌 氏
	10:15~12:00 【日印産連セミナー】 環境対策とGP認定制度セミナー	
	12:00~12:30 【東京都中小企業振興公社セミナー】 無風空間除電 “スマートトリークシリーズ” の紹介	高柳 真 氏
13:30~15:15	【日印機工セミナー】 Japan Color 認証セミナー - 認証取得のメリットと取得方法 -	緒方 章一 氏 宮原 隆夫 氏 友永 義行 氏

■ 顧客満足度を高める印刷会社のシステムとは

新たに自社で開発したMIS、P-BIS(Printing Business Innovation System)を紹介。個々印刷物の原価管理に加え、受注毎・工程毎に原価管理ができるようにして数値による業務把握を可能にした。生産のリードタイム短縮や社会変化への適応力を高め顧客満足度向上を進める。



講師：
奥村印刷(株)
プリプレスセンター長
山田 秀生 氏

■ 世界と日本のフレキソ印刷の市場展望と動向

フレキソ印刷が印刷産業の中でどのような位置づけにあるかを、世界のフレキソ印刷状況を見ながら考察。さらに日本のフレキソ印刷の現状と、これからフレキソ印刷が成長すると期待される軟包装材や紙器などのパッケージ印刷分野や衛生・台所用品、壁紙などの分野を紹介。



講師：
(株)TSIプランニング
代表取締役
高木 審一郎 氏

■ 日印機工セミナー 印刷産業機械の安定稼働 — 予防保全と定期メンテナンスの重要性 —

印刷機を安定稼働させるためには、日常の定期メンテと保守点検が不可欠である。突発故障は生産がストップするだけでなく、納期に間に合わないなどトータルな面でコストアップに繋がり、経営にマイナス効果を及ぼす。予防保全を実施することで経営リスクの大幅低減が可能になる。また、入替時期も法定耐用年数に限定せず、新機種種の普及による陳腐化を含め検討する必要がある。



講師：
日本印刷産業機械工業会
専門部会委員
(株)ミヤコシ 執行役員
仲 正裕 氏

■ 印刷会社の事業領域拡大と新たな事業機会 — 川下領域におけるビジネストレンドー

印刷会社の事業拡大と新たな事業機会を次の観点で説明。

- ◆2014年～2016年印刷市場はこうなる!
- ◆印刷通販が印刷業界に起こしたインパクトとその対策
- ◆中小印刷会社は、川下マーケットを攻める!!
- ◆どのエリアでも可能!! 新規問合せ30件/月、新規受注10社/月獲得する成功率80%ソリューションとは
- ◆コンサルティング営業を止めなさい! 営業が今求められていること



講師：
(株)船井総合研究所
岩邊 久幸 氏

■ 日印産連セミナー 印刷会社のための労働衛生対策セミナー

日印産連と労働衛生協議会の活動の中から、労働衛生対策の実態、有機溶剤中毒予防規則等への対応方法、さらにはVOC発生の実態などの最新情報を含め説明。また、日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部 中央労働災害防止協会による具体的な対応や、防毒マスク、洗浄剤等のGP資機材認定制度の紹介。



■ “水性フレキソ”で軟包装市場に参入するためのポイントと準備

パッケージ分野はグラビア印刷が一般的であり、インキ総使用量も昨今はオフセットを上回っている。しかし、環境面では大量の溶剤インキ燃焼時の負荷も含め環境負荷が大きい。これを解決するのが水性フレキソである。環境負荷がグラビアの1/7に低減でき、品質もかなり上がったことから、軟包材の1/3がフレキソに移行するとの調査結果がある。導入にあたっては、ダイレクトレーザー彫刻(DLE)にCTP化やインキの選択など各種対応が必要である。



講師：
大日精化工業(株)
塚田 昌氏

■日印機工セミナー Japan Color 認証セミナー



講師：
 (株)ウエマツ 執行役員 印刷部 部長
 緒方 章一 氏
 大村印刷(株)
 企画本部 制作部 課長
 宮原 隆夫 氏
 (社)日本印刷産業機械工業会
 Japan Color認証制度事務局 課長
 友永 義行 氏

できるようになり信頼度も向上しており、各作業工程の標準化をさらに推進している。

【宮原】3年前に取得した。近年、印刷関連機器が良くなっているにもかかわらず、色のトラブルが増えていた。部門間でのコミュニケーションが薄くなり、全社的な最適化が進んでいないと考え、認証取得を進める中で、全体最適なマネジメントシステム構築を進めた。この結果、コミュニケーションが復活し、トラブルは確実に減少傾向にある。

標準印刷認証取得2社より取得の経緯と取得効果について報告。

【緒方】3年前に認証取得し、新規開拓のツールとして活用している。また、Japan Color基準の要望から受注幅の拡大に繋がっている。顧客と数値による色の対話が

【友永】標準印刷、マッチング、ブルーフ運用、ブルーフ機器の4認証の取得方法を説明。

■日印産連セミナー 環境対策とGP認定制度セミナー

環境対策を推進するにあたり、各種認定制度の取得、環境ラベル等の利用が有効な方法と言える。日印産連が推進するグリーンプリンティング(GP)認定制度をはじめ、環境保護印刷推進協議会(クリオネマーク)及び日本WPAの活動内容、仕組、環境ラベルの取得方法について各担当から具体的に説明を行った。



【東京都中小企業振興公社セミナー】

地元である東京には多くの中小企業があり、ここから印刷に関連する新規商品が誕生している。JGAS2013では、これら新商品を紹介する場として東京都中小企業振興公社ブースを設けるとともに、製品紹介のセミナーを実施しました。

■VOCガス回収装置紹介

VOCガス回収装置のトップメーカーである(株)モリカワが開発した「VOCガス回収装置」についての紹介。

講師：(株)モリカワ 環境機器部門 海外市場兼カスタマーサポートリーダー 渡辺 修 氏

■無風空間除電“スマートトリークシリーズ”紹介

印刷物や作業などあらゆる空間で発生した静電気を除去し、除塵効果を高める無風空間除電“スマートトリークシリーズ”の紹介。

講師：(株)TRINC 代表取締役社長 高柳 真 氏

④新製品セミナー

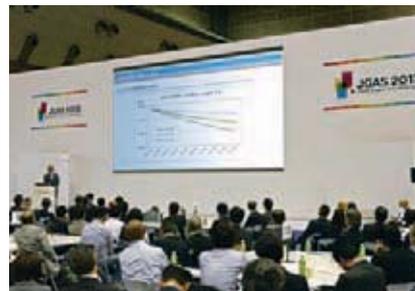
多くの新製品が出展されたことから、出展者から詳細なプレゼンテーションを行う新製品セミナーを開催しました。10社の出展者がプレゼンテーションを行い、延べ150名が参加、新製品に対する理解度アップに貢献しました。

	日時	内容
10/2 (水)	13:00~13:30	日本ヒューレット・パカード (株) 高生産性・高品質の産業用印刷を実現する最高水準機
	13:30~14:00	大日本スクリーン製造 (株) (株)メディアテクノロジー ジャパン UVインクジェットラベルプリンティングシステム
	14:00~14:30	(株)プロスパーククリエイティブ 検版の常識が変わる第4世代の検査システム
	15:00~15:30	(有)ピクア 素材フリー！立体物に転写プリント自由自在
	15:30~16:00	スターティアラボ (株) タブレット端末とデジタルカタログで売り上げUP！
10/3 (木)	10:30~11:00	太平洋印刷 (株) スマホからハガキが出せる。
	11:00~11:30	(株)ミヤコシ ミヤコシMJPシリーズの将来性
	11:30~12:00	リョービ (株) お客様と共に進化するリョービの提案
	13:00~13:30	(株)日研化学研究所 今だから有機則非該当製品 新発売！！
	14:00~14:30	富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ (株) 「劇的、コミュニケーション革命。」

▶ 1-2) 関連団体セミナー

①全印工連フォーラム2013

10月4日に全日本印刷工業組合連合会による「全印工連フォーラム2013」が開催され、約450名が参加しました。第1部のプレゼンテーション(講演会)では、産業戦略デザイン室の白田委員長が印刷業界の現状認識と2020年に向けた将来展望を示し、印刷が今後果たしていく役割について提言を行いました。続いて講演した江森副委員長が、「原点回帰」、「ワンストップ対応」、「経営者の高い志」の3つをソリューション・プロバイダーに必要な要素として挙げ、これからの戦略方向性を、①地域活性プロモーター、②特定機能プロバイダー、③特定業界スペシャリスト、④メディアプロダクトメーカー、⑤パーソナルメディアショップ、⑥印刷製造スペシャリスト、の6類型に分けて提示しました。



第2部では、神奈川県工組の大川哲郎氏をファシリテーターに迎え、「オープン・スペース・テクノロジー(OST)」手法によるディスカッションが行われました。ソリューション・プロバイダーの6類型に関連する28テーマが定められ、各々のテーブルに配されたテーブルリーダーを核として、活発な討議が行われました。

②JAGATプレミアセミナー(有料)

(公社)日本印刷技術協会によるプレミアセミナーを開催しました。午前の部で「JGAS2013見どころガイド」を毎日開催するとともに、新時代の印刷技術に関連する7テーマでセミナーが行われ、延べ300人近くが参加し注目を浴びました。



日 時	内 容	講師名	
10/2 (水)	10:15~11:15	JGAS2013見どころガイド (1)	相馬 謙一 氏
	12:30~14:00	デジタルファースト時代の印刷ビジネス	橋本 鉄也 氏 黒須 信宏 氏
	15:00~16:30	50部からの小ロットデジタル印刷を可能にするWeb発注 -PPOでワンストップサービス-	小野 裕二 氏 谷岡 利雄 氏 郡司 秀明 氏
10/3 (木)	10:15~11:15	JGAS2013見どころガイド (2)	宮本 泰夫 氏
	12:30~14:00	印刷経営動向の読み方	藤井 健人 氏
	15:00~16:30	ブックオンデマンドとポストプレスの展開	加藤 隆之 氏 松尾 孝行 氏
10/4 (金)	10:15~11:15	JGAS2013見どころガイド (3)	相馬 謙一 氏
	12:30~14:00	AR Print to Webの成功ノウハウ	岡崎 正輝 氏 向山 文都 氏 傍島 健友 氏
	15:00~16:30	情報メディアを活かすインフォグラフィックス	村上 崇 氏 五十嵐 隆典 氏
10/5 (土)	10:15~11:15	JGAS2013見どころガイド (4)	宮本 泰夫 氏
	12:30~15:30	"SHOTS" で学べる枚葉印刷機械のトラブル対策	松根 琢 氏

③日本印刷学会セミナー(有料)

「新しいスキルと新しい印刷産業を創造する」をテーマに秋期セミナーが(社)日本印刷学会により開催され、7つの講演が行われました。また、「P&I研究会シンポジウム」も行われ、各種印刷技術をプリンテッドエレクトロニクスに活用している現状と将来展望に関する講演が行われました。

10/3 (木) 10:00~17:00 【P&I研究会シンポジウム】 プリンテッドエレクトロニクスの現状と将来展望			10/4 (金) 9:45~17:00 【秋期セミナー】 新しいスキルと新しい印刷産業を創造する ~ソリューションから先のイノベーションへ向けて~		
10:00~10:50	プリンテッドエレクトロニクスに求められるものとの今後の課題	牛島 洋史 氏	午前の部	3D プリンターが拓く印刷の未来	大倉 正宏 氏
10:50~11:40	フレキソ印刷法・グラビア印刷法、その他	丸野 正徳 氏		紙で作るフルカラー 3D プリンタ技術	松浦 謙一郎 氏
11:40~12:30	スクリーン印刷	佐野 康 氏		JGAS2013速報 見どころ紹介 デジタル印刷最新情報	堀本 邦芳 氏
13:30~14:20	反転印刷	高武 正義 氏	午後の部	CRMの未来 ~ビッグデータから イノベーションを起こそう~	吉丸 滋美 氏
14:20~15:10	グラビアオフセット印刷	小林 大介 氏		ARの仕組みと印刷ビジネスでの展開	平林 利文 氏
15:10~16:10	プリンテッドエレクトロニクスに向けた印刷プロセス開発	野村 健一 氏		はじめのHTML5講座	渡邊 泉 氏
16:10~17:10	パネルディスカッション	モデレータ 牛島 洋史 氏		印刷業界向けCreative Cloudの 導入価値とは	岩本 崇 氏

主催者企画・イベント

④国際印刷大学校セミナー

10月2日「印刷産業に於ける環境諸問題に関するセミナー(第2回)」が行われ、環境問題に関心のある印刷会社の方を中心に約80人が参加しました。

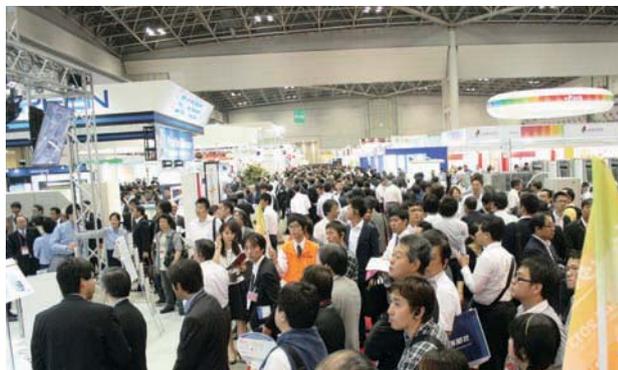
▶1-3) 出展者セミナー

主要な出展者による製品、技術、環境など多岐にわたるセミナーが連日、活発に開催されました。

日 時		出展者	内 容
10/2 (水)	13:15~14:00	(株) コトブキ企画	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマホで印刷物とWebの連携を強める ー 見て楽しむARから効果を出す画像認識へー
10/3 (木)	10:00~12:30	(株) プロスパークリエイティブ	<ul style="list-style-type: none"> ■ JapanColorに対応した「カラープレイン・エリア」 ■ 「カラープレイン」、印刷会社様との検証と活用について ■ 第4世代の検査システム「MXエンジン」と色・文字検査の最先端技術
	13:30~16:30	日本ビューレット・パッカード(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ラベル&パッケージ セッション 軟包装・紙器ビジネス徹底解剖 ■ 一般商業印刷 セッション
	15:00~17:00	(株) メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 欧州・中国の印刷業界動向 ■ drupa 2016/All in Print China 2014紹介
	15:30~16:30	日本ビューレット・パッカード(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出版印刷セッション ■ フォトビジネス セッション
10/4 (金)	10:30~11:30	Phoseon Technology	<ul style="list-style-type: none"> ■ Phoseon Technology™: UV LED硬化ソリューション第一人者のご紹介
	13:00~16:10	リコージャパン(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■ グリーンPODの取組み ー 印刷物と環境配慮に向けてー
	13:00~17:00	ウエノ(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 印刷市場における付加価値創造について ■ 印刷の標準化と品質管理の向上を図る印刷メンテナンス ■ 環境法令の概要、労働安全衛生法、標榜法及び化学物質排出把握管理促進法等の概要説明
	14:00~16:00	(株) 小森コーポレーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実録「職場診断から見える印刷のツボ3」 ～濃度と網点面積の管理～
	14:30~15:30	(株) 加貫ローラ製作所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 印刷ゴムローラの機能と開発動向
10/5 (土)	10:30~12:30	(株) 小森コーポレーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ KPM実践講座 印刷工場の100点満点診断の手法
	10:30~11:30	淡路印刷(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年商3億円までの印刷会社さんへ アナログ営業のススメ!! できることから始めよう!!
	11:00~12:15	富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「なるほど「湿し水」～管理とトラブル対策～」出版記念 JGAS2013 湿し水技術セミナー
	11:00~12:00	富士通(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ColorFitによる画像の自動処理 ～Web入稿への対応～
	13:15~14:00	(株) コトブキ企画	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマホで印刷物とWebの連携を強める ー 見て楽しむARから効果を出す画像認識へー

+Tour

JGAS2013のトレンドや出展状況をわかりやすく説明する+Tourを実施しました。来場者の関心事に合わせ5コースを設定しました。延べ1,500人超の方が参加し、短時間でJGASを理解できたと好評をいただきました。



■ツアーコース

コース	内 容	コンダクター
スタンダードコース	会場内の通路を巡りながらポイント、最新の技術や製品のポイントを紹介するツアー。 コース所要時間 50分（英語・中国語・韓国語ツアーも開催）	女性MC3名他
プレミアムコース	プリプレスから後加工技術までの幅広い最新情報を、印刷市場のトレンドやビジネスの動向を紹介するツアー。 コース所要時間60分（事前セミナー20分+見学40分）	(株)バリューマシーンインターナショナル 取締役副社長 宮本 泰夫氏 (公社)日本印刷技術協会 専務理事 相馬 謙一氏
テーマフォーカスコース	①最新デジタル印刷の「技術と製品」 インクジェット、電子写真などの最新のデジタル印刷の製品展開、利用法などを、各ブースを巡りながら紹介するツアー。 コース所要時間45分（事前セミナー15分+見学30分）	(株)プリンテクノ 代表取締役 木村 哲雄氏
	②最新印刷「ビジネス」最前線 印刷方式に限らずITの利用などによって印刷ビジネスが多様化する中で、最新の印刷ビジネス事例を各ブースを巡りながら紹介するツアー。 コース所要時間45分（事前セミナー15分+見学30分）	(株)DIG JAPAN 代表取締役 星名 勲氏
	③最新「後加工システム」解説 断裁・折り・綴じといった後加工の自動化、効率化、高付加価値化が進む中で、最新後加工技術を各ブースを巡りながら紹介するツアー。 コース所要時間45分（事前セミナー15分+見学30分）	木村企画 代表 日本製本紙工新聞 編集パートナー 木村 智之氏

■+Tour参加人員 4日間合計 1,492名

【参加人数】

コース名	10月2日	10月3日	10月4日	10月5日	計
スタンダードコース	105	133	262	105	605
プレミアムコース	72	106	125	87	390
テーマフォーカスコース	128	137	164	68	497
計	305	376	551	260	1,492



+Live Studio

ライブスタジオを6ホールに設置し、クライアントやデザイナーなどの多彩なゲストを迎えて、これからの印刷に期待することなどを語るトークショーやイベント情報をタイムリーに発信しました。メモを熱心に取り取る方もあり、ライブな情報発信の場として好評を博しました。



■スケジュール

	10/2 (水)	10/3 (木)	10/4 (金)	10/5 (土)	
1	10:30~10:45	JGAS 2013 Morning News	JGAS 2013 Morning News	JGAS 2013 Morning News	
2	11:30~12:00	ブライター・ライター 山下潤一郎が見るJGAS2013とは 「JGAS2013の目玉は何か」 「印刷を広げる新しい試みとは」 「デザイン・加工分野の今後は」			【特集】 新女性印刷人誕生 (株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 谷本 まりの 氏 凸版印刷(株) 製造統括本部 樋口 健次 氏
3	13:00~13:15	業界紙が見るJGAS2013			
		●商印/出版編 印刷新報 ブライター・ライター 山下 潤一郎 氏	●パッケージ印刷編 PACK&BOX (株) 全国紙器広報センター 代表取締役 猪俣 吉春 氏	●製本・後加工編 日本製本紙工新聞 (株) 印刷出版研究所 代表取締役 沼尾 佳恵 氏	●総括編 (株) 印刷出版研究所 代表取締役 沼尾 佳恵 氏 (株) 全国紙器広報センター 代表取締役 猪俣 吉春 氏 ブライター・ライター 山下 潤一郎 氏
4	14:00~14:15	JGAS 2013 Afternoon News	JGAS 2013 Afternoon News	JGAS 2013 Afternoon News	
5	15:00~15:30	【特集】 パネルディスカッション登壇者がデジタル印刷に対して思いを語る (株) 電通 北原 利行 氏			ブライター・ライター 山下潤一郎が見る JGAS2013とは 【総括編】
		クライアントから見たPrint+α 花王(株) 本間 充 氏	プリンティングデザイナーが見た Print+αとは ス튜디오・パラポリカ ミルキィ・イソベ 氏		
6	16:30~16:45 ※最終日のみ 15:45~16:00	Tokyo Info Station	Tokyo Info Station	Tokyo Info Station	

■JGAS News

Morning/Afternoon Newsでは、セミナーなど各種イベント情報、映像を含めたハイライト情報を毎日発信しました。また、夕方のTokyo Info Stationでは、帰りの交通情報やビッグサイト周辺のグルメ情報など多彩な情報を発信しました。

■ **ライター・ライター山下潤一郎が見るJGAS2013とは**

山下氏が4日間にわたり、JGAS2013のポイントや、印刷の新しい試み、デザイン・加工分野の今後などの視点で紹介しました。通常の見学ではわかりにくいポイントを、山下氏の鋭い視点で分析して解説を行いました。参加者からは見学する上で非常に参考になったという評価をいただきました。



ライター・ライター
山下潤一郎氏

■ **業界紙が見るJGAS2013**

専門業界紙の目で、出版・商印・パッケージ・製本・後加工の分野別に出席内容を分析して解説するコーナー。紙面ではわかりづらい情報をリアルに聞くことができ好評でした。

(株)印刷出版研究所 代表取締役社長
沼尾 佳恵氏
(株)全国紙器広報センター 代表取締役社長
猪俣 吉春氏



■ **特集**

① **パネルディスカッション登壇者がデジタル印刷に対する思いを語る**

パネルディスカッションでモデレータを務めた北原氏から、パネルディスカッションの総括と語り得なかったことを伺いました。特に、消費者の価値観が多様化する中で、クライアントの課題に対してソリューションを提供できる印刷会社になることが必要であるなど多くのメッセージが語られました。

(株)電通 電通総研メディアイノベーション研究部 研究主幹
北原 利行氏



② **クライアントから見たPrint+ α とは**

クライアントの立場から印刷に期待することを伺いました。バブル崩壊以降、マスマーケティングからセグメントマーケティングに変化する中で広告媒体も顧客ごとに変える必要がある。パッケージにおいてもデジタル印刷で個人名を入れたラベルを作り、販売されるなど変化している。業界内にいるとこのような発想にならないので印刷会社から多くの提案を出してもらい、一緒になって進めていきたいというコメントがありました。

花王(株) デジタルコミュニケーションセンター 企画室 室長
本間 充氏



③ **装丁デザイナーから見たPrint+ α とは**

装丁デザイナーから印刷業界への期待を伺いました。本は触ることからも内容を伝える力を持っており、五感で感じ取れる本を作りたいと考えている。欠点を逆に生かす発想で段ボールにフレキシで印刷した本を作ったが、素朴な感じを表現できて良かった。綺麗さだけであれば、電子書籍で十分であり、本の持つ風合いなりを表現できる売り込み提案を逆転提案も含めどんどんして欲しいといったコメントがありました。

스튜디오・パラポリカ
ミルキィ・イソベ氏



④ **新女性印刷人誕生**

7月に行われた技能五輪国際大会の「印刷職種」で6位、敢闘賞を受賞された谷本さんと技能指導された樋口さんを迎え、技能五輪の様子と今後に期待する点などを伺いました。

【谷本】 DTPオペレーターになりたくて入社したが、印刷オペレーターとして技能五輪に出場することになった。屈強な男性陣に混じりいろいろ苦労したが、1つ1つの作業を確実に行うことができるようになったなど得るものが多かった。菊全枚葉機の機長として頑張っているが、デジタル印刷化によってさらに女性が働きやすい職場環境になることを期待している。

(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ
谷本 まりの氏



【樋口】 谷本さんの妥協を許さずしっかり学ぶ姿勢はすばらしい。女性は繊細な面といざという時の度胸を持っている。色の判断能力も優れており、女性が印刷の現場に入ることによって変わっていくことを期待している。印刷離れが進んでいるが、若い人に本を読んでもらい印刷の良さを理解し、好きになってもらうことを期待したい。

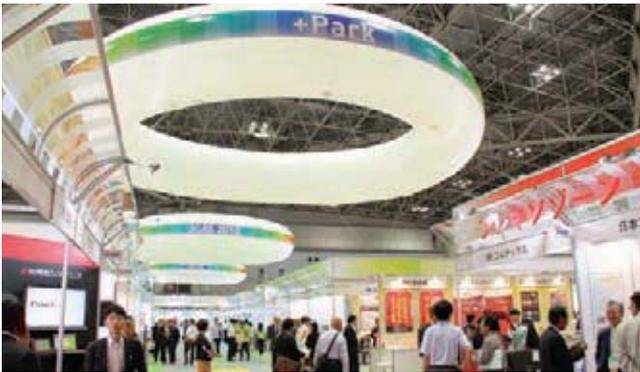
凸版印刷(株) 製造統括本部
樋口 健次氏



+Park

小規模出展ブースの方々から、出展しても大規模出展ブースの影に隠れ訪問者が少なく出展効果が小さいといった声をもとに、JGAS2013では、来場者が目的にあったブースに容易に辿りつけるよう、テーマごとにテーマゾーン+Parkを作り集客性向上をはかりました。

フレキシソ印刷、アプリケーション、IT/システムなどのテーマゾーンに加え、日印産連の環境印刷ゾーンと労働衛生ゾーン、Japan Color認証ゾーン、さらには、恒例となっている大学などの研究機関の先進技術ゾーンを構成しました。2ホール中央に配置したこともあって、多くの来場者が訪れました。



■ +Park 出展者一覧 (): 出展者数

ゾーン	出展企業/団体
フレキシソ印刷 (4)	明昌 日本フレキシソ技術協会 スミタ コムテックス
IT/システム (4)	J SPRITS 両毛システムズ ジグス ピー・エス・シー
アプリケーション (12)	太平洋印刷 荷札屋本舗 ソマード オープンエンド クロスリンク・パシフィック スターティアラボ 淡路印刷 コトブキ企画 グラフィックサポート カーデックス エイシス 日本フォーム印刷工業連合会
労働衛生 (7)	マコト化学工業 日研化学研究所 新コスモス電機 興研 日本印刷産業連合会 中央労働災害防止協会 日本労働安全衛生コンサルタント会
環境印刷 (5)	環境保護印刷推進協議会 日本印刷産業連合会グリーンプリンティング認定事務局 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ 日本WPA コニカミノルタビジネスソリューションズ
先進技術 (10)	千葉大学大学院小関研究室・小林研究室 東海大学関根研究室 東京工芸大学佐藤研究室・色彩画像研究室・電子画像研究室 東京電機大学エルゴノミクスデザイン研究室 長岡技術科学大学システム安全工学研究室 名古屋工業大学大学院薄膜研究室 産業技術総合研究所
その他 (3)	日本印刷産業機械工業会Japan Color認証制度事務局 印刷OEM研究会 日本プリンティングアカデミー

■ 先進技術ゾーン

今回は、6大学の9研究室と産業技術総合研究所の計10研究室が参加しました。情報画像記録材料から次世代のディスプレイとして期待されている有機ELなどの光学デバイスなどの画像関連技術、色の心理的イメージや文字の読み易さを考慮した配色支援システム、さらには、環境関連技術など様々な研究成果が紹介されており、普段あまり目にする事ができない新技術だけに多くの来場者が足を止めて見入っていました。

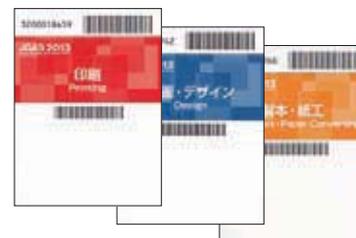


入場システム

バーコードによる入場システムを採用しました。これにより、受付で提示された名刺情報をデータベース化して、次回のIGAS2015のご案内に活用することができるようになりました。

さらに、出展ブースでバーコードをスキャンすると出展者に名刺情報を提供できるセキュアバーコードサービスを導入し、採用した出展者から好評を得ました。

また、前回のIGAS2011に比べ事前登録者数が2倍に増え、受付の混雑防止に繋がりました。



出展者数および小間数

	JGAS2013		JGAS2009	
	社数	小間数	社数	小間数
国内出展者	222	1,352	238	1,605
海外出展者	7	12	14	20
計	229	1,364	252	1,625

来場者数

前回のJGAS2009より開催日が1日短縮されたこともあって、来場者数が減少しました。

日付	天気	来場者数
10月2日(水)	雨のち曇り	5,503
10月3日(木)	晴れ	8,027
10月4日(金)	曇り	9,885
10月5日(土)	曇り一時雨	7,822
総数		31,237 (うち海外来場者1,009)

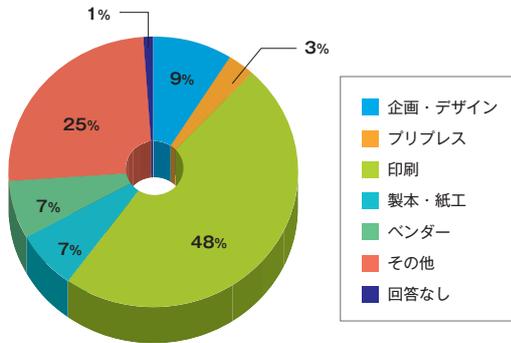
▶ 前回との比較

		JGAS2013	JGAS2009
来場者総数		31,237	69,881
海外来場者		1,009	1,468
内訳 (カッコ内は国数)	アジア	806 (12)	1,286 (12)
	欧州	46 (15)	79 (11)
	北米/南米	30 (4)	36 (5)
	太平洋州	11 (2)	12 (1)
	インド/中東	36 (3)	53 (5)
	アフリカ	0	2 (2)
	不明	80	0

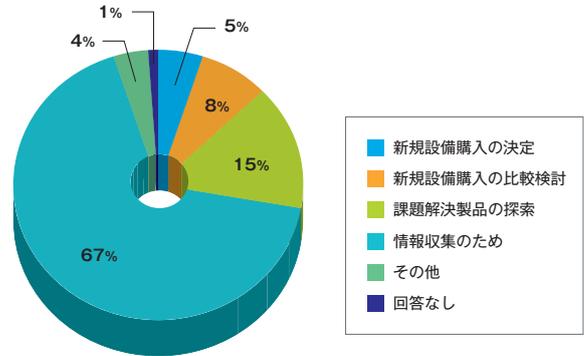
来場者アンケート

①入場時に、アンケートに回答していただいた来場者28,488人の結果を集計。

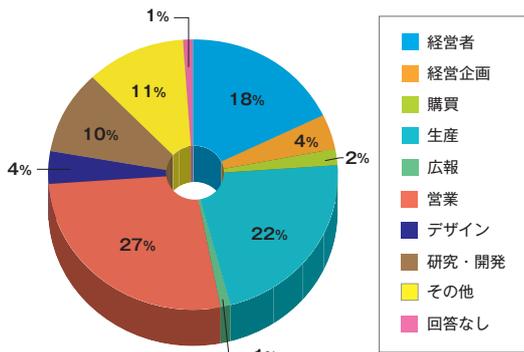
来場者の業種



来場目的



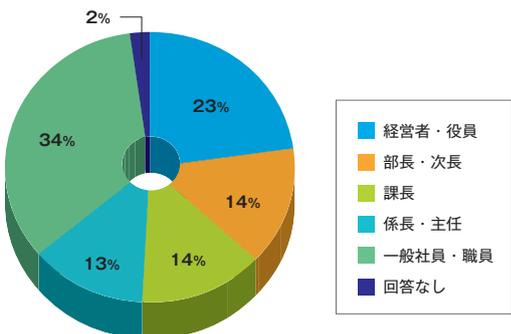
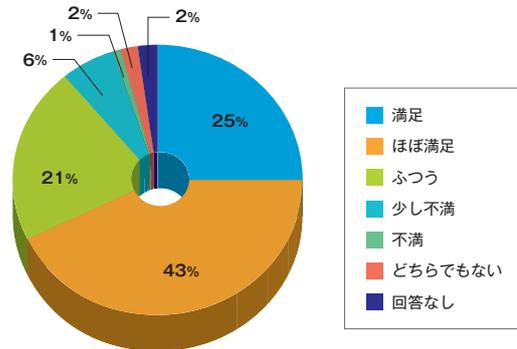
来場者の職種および役職



②6ホールアンケート結果

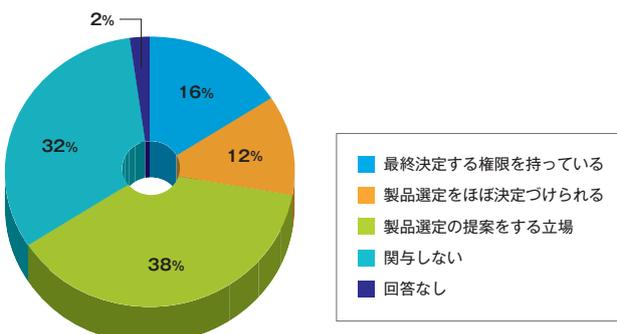
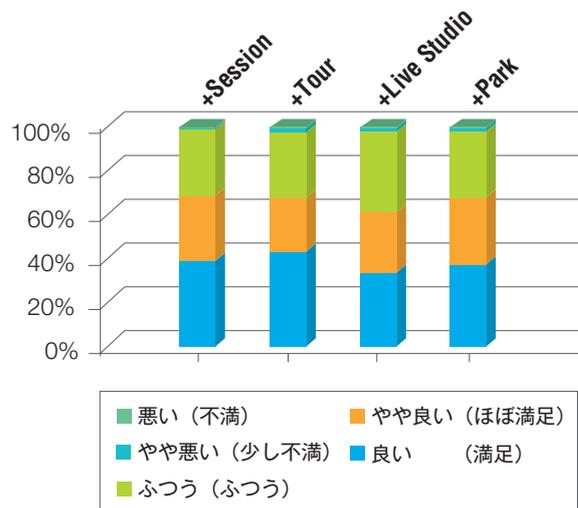
6ホールにおいて、別途アンケートに回答いただいた2,364人の結果を集計。

展示会全般に対する満足度



各イベント毎の満足度

9割以上の方々に「ふつう」以上、約6割のご来場者に「やや良い（ほぼ満足）」以上のご評価をいただきました。



広告宣伝

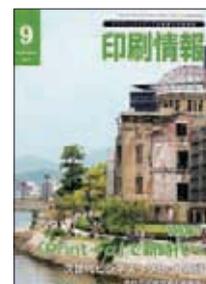
■新聞・雑誌

●広告掲載

- 2013年6月 印刷業界紙4紙
- 7月 印刷業界紙4紙
- 8月 印刷業界紙4紙／雑誌1誌
- 9月 印刷業界紙14紙／雑誌3誌 組合情報誌5誌

●記事掲載

- 2013年6月 11紙
 - Fuji Sankei Business i(6/6)／ニュープリンティングニュース(6/10・25)
 - 印刷新報(6/13)／新聞之新聞(6/14)／印刷ジャーナル(6/15)
 - プリテックステージニュース(6/15)／日本印刷新聞(6/17)
 - オール印刷(6/18)／板紙・段ボール新聞(6/17)／日本製本紙工新聞(6/20)
 - 紙器段ボール新聞
- 2013年7月 6紙
 - 印刷新報(7/4・18)／段ボール事報(7/15)／印刷ジャーナル(7/25)
 - プリテックステージニュース(7/25)／オール印刷(7/28)
 - 印刷タイムス(7/30)
- 2013年8月 2紙
 - プリテックステージニュース(8/25)／日本製本紙工新聞(8/30)
- 2013年9月 3誌
 - 印刷情報／印刷界／東グラ
- 2013年9月 9紙
 - 印刷タイムス(9/10)／プリテックステージニュース(9/15・25)
 - ラベル新聞(9/15)／日本製本紙工新聞(9/20)／日本印刷新聞(9/23・30)
 - 印刷ジャーナル(9/25)／印刷新報(9/26)／板紙・段ボール新聞(9/27)
 - 段ボール事報(9/30)
- 2013年10月 1誌
 - 月刊プリテックステージ
- 2013年10月 5紙
 - ニュープリンティングニュース(10/2)／プリテックステージニュース(10/5)
 - 日本製本紙工新聞(10/5)／印刷新報(10/17)／日本印刷新聞(10/17)



■JGAS2013 ホームページ

<http://www.jgas.jp>

主催者企画の各種イベントおよび関連情報をタイムリーに発信するため、新たなホームページを立ち上げました。また、Print+α イベントについては、専用のバナーを作り紹介の動画を配信するなど多くの情報を容易に閲覧できるようにするとともに、事前申込みも簡単にできるようにしました。



ホームページ

■印刷物

●JGAS2013ポスター

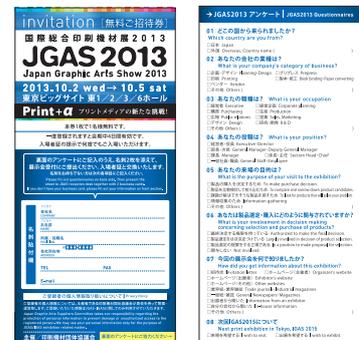
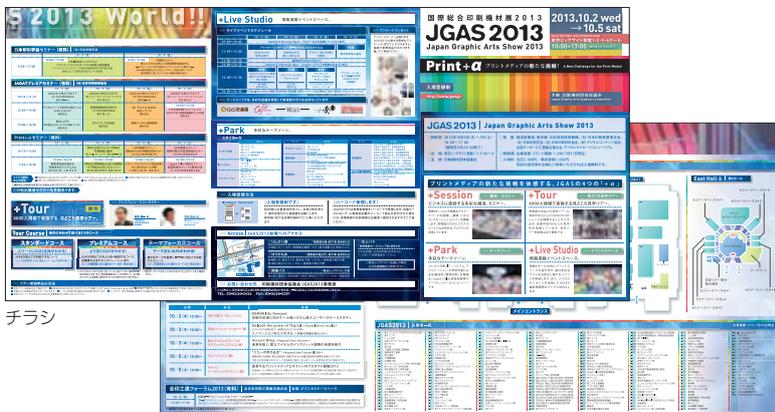


●手提げ袋



●入場招待券およびチラシ

従来は開催概要、イベント情報をJGAS/IGASレポートで配布していましたが、今回は入場招待券にPRチラシを作成して同封しました。来場を予定している方々から情報が早い時点で入手できたということで好評をいただきました。



●公式カタログ／公式ガイドブック

出展者企業一覧と会場マップを掲載した公式カタログ(和英別冊)とイベント情報を掲載したガイドブック(和英合冊)を無料で配布しました。+Tourで見学する出展ブースの情報も掲載するなど、持ち運びやすく、読みやすいとの評価を得ました。



公式カタログ 日本語版



公式カタログ 英語版



公式ガイドブック

■ フードコートおよびカフェテリア

憩いの場として、JGAS2013ではカフェテリアとフードコートの充実を行いました。展示会場である1ホール及び3ホールと6ホールにファーストキッチンやCOCO壱番屋など今までにない店舗のフードコートを設けました。特にイベント会場である6ホールには約250人が座れるフードコートを設けました。

また、+Live Studioの前にJGASカフェを設け、スタジオのイベントを見ながら休憩できる場も設けました。疲れを癒したり、見学のまとめに気軽に立ち寄れると好評でした。



■ 動画撮影・配信サービス

事前もしくは会期中に出展者のPR用動画を撮影し、JGAS2013ホームページでバナー広告とともに配信するサービスを行いました。広告としての価値と記録映像としても使えると好評をいただきました。



■ デジタルサイネージおよび出展者検索

6ホール入口にイベント情報などの映像をデジタルサイネージで配信しました。

また、出展者のブースを検索する端末も配置し多くの来場者にご利用いただきました。



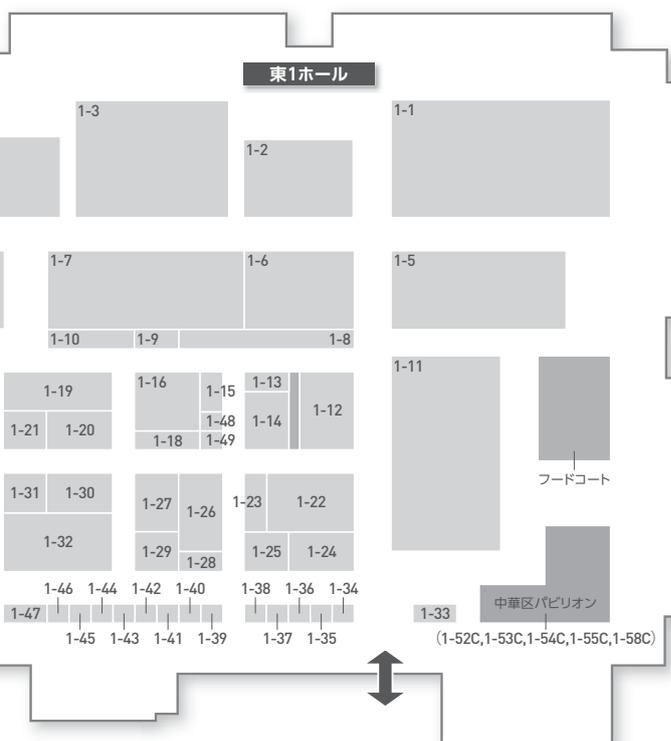
出展企業一覽

出展者名	小間番号				
あ					
アイグラフィックス(株)	2-12	(株)木田鉄工所	1-11	篠田商事(株)	2-24
(株)アイセロ	1-36	キヤノンマーケティングジャパン(株)	2-4	(株)シノハラ・ジャパン	3-16
アイマー・プランニング(株)	2-18	(株)キングコーポレーション	2-38	(株)芝橋	3-41
アイレック技建(株)	3-24	(株)金陽社	3-17	Japan Color 認証制度事務局	2-71P
アコ・プランズ・ジャパン(株)	1-16	(株)工藤鉄工所	1-24	(株)正栄機械製作所	3-67
(株)浅野研究所	1-44	倉敷紡績(株)	3-41	(株)シヨウワ	3-43
アラム(株)	3-63	(株)グラフィックサポート	2-56P	(株)伸興	3-37
(株)アルファアキ研	3-62	(有)グラフィックス・サービス・ジャパン	1-38	新コスモス電機(株)	2-75P
淡路印刷(株)	2-55P	グリーンプリンティング認定事務局	2-82P	スーパーファックス(株)	3-13
YII LEE ENTERPRISE CO., LTD	1-58C	クルツジャパン(株)	3-64	スターティアラボ(株)	2-58P
(株)いけうち	3-52	(株)クロスリンク・パシフィック	2-63P	(株)スミタ	2-67P
Isaberg Rapid AB	3-46	(株)ケイ・ジー・ケイ	3-57	西華産業(株)	1-22
(株)一誠堂	2-40	ケイズカンパニー(株)	3-39	セーレン(株)	2-14
イトーテック(株)	2-5	(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン	3-36	(株)ソマード	2-60P
伊原電子工業(株)	3-29	興研(株)	2-83P	た	
イメージング ソリューションズ	3-39	(株)光文堂	3-47	TAYI YEH MACHINERY CO., LTD.	1-52C
岩崎鉄工(株)	2-8	(株)コスモサウンド	3-31	大通機械販売(株)	2-35
NPO法人 印刷OEM研究会	2-69P	(株)コスモテック	1-27	ダイニック(株)	2-46
(株)インターコスモス	3-38	(株)コトブキ企画	2-57P	大日本スクリーン製造(株)	2-3
(株)インターテック	3-18	コニカミノルタ(株)	2-72P	太平洋印刷(株)	2-62P
ウエノ(株)	2-30	コニカミノルタ ビジネスソリューションズ(株)	3-11/2-78P	(株)太陽機械製作所	2-28
ウエブテック(株)	3-53	(株)此花	3-32	(株)タカノ機械製作所	2-21
(株)ウチダテクノ	3-4	(株)コムテックス	2-91P	ダックエンジニアリング(株)	1-11
(株)エイシス	2-59P	コムネット(株)	3-22	国立大学法人 千葉大学大学院 小関研究室	2-46P
エイワ機工(株)	1-48	(株)小森コーポレーション	3-2	国立大学法人 千葉大学大学院 小林(裕)・青木・今泉研究室	2-45P
(有)エクセル・タム	3-35	さ		(株)ティーディーエス	2-42
(株)エスケイセールス	1-22	(株)桜井グラフィックシステムズ	2-13	(株)テイク	2-43
エスログラフィックス(株)	2-9	(株)笹岡工業	2-23	テクノロール(株)	1-29
エプソン販売(株)	2-6	三起機械(株)	1-10	(有)テシコン	2-73P
(株)エム・シー・ケー	1-21	独立行政法人 産業技術総合研究所	2-54P	(有)デュプリン・ジャパン・リミテッド	1-15
エルスエンジニアリング(株)	1-13	(株)三條機械製作所	1-20	(株)デュプロ	1-2
(株)大西機械	3-33	(株)サンライズ カンパニー	3-60	(有)TOOV	2-37
(株)オープンエンド	2-64P	(株)サンワコーケン	3-50	学校法人 東海大学 関根嘉香研究室	2-53P
(株)沖データ	3-5	Shenzhen Lamplic Science Co.,Ltd.	1-54C	東京印刷機材トレーディング(株)	3-10
(株)尾裕製作所	3-8	ジエグラーパー	3-15	学校法人 東京工芸大学 印刷デバイス (佐藤)研究室	2-48P
か					
カーテックス(株)	2-90P	CGS Japan(株)	2-16	学校法人 東京工芸大学 電子画像研究室	2-47P
(株)片山抜型製作所	1-46	(株)ジーティーピー	2-26	学校法人 東京工芸大学 色彩画像研究室	2-49P
(株)勝田製作所	3-49	(株)ジェイエンタープライズ	2-7	学校法人 東京電機大学	2-50P
(株)加貫ローラ製作所	3-45	(株)J SPIRITS	2-86P	エルゴノミクスデザイン研究室	
兼房(株)	3-40	(株)ジェビック	3-56	公益財団法人東京都中小企業振興公社	3-54
環境保護印刷推進協議会	2-81P	ジクス(株)	2-89P	東京ラミネックス(株)	1-42
		設楽印刷機材(株)	3-21	(株)藤堂製作所	3-30
		シトマ ジャパン(株)	1-32		
		シナジーコミュニケーションズ(株)	3-28		

東ホール

6

会場案内図



- 2-65P 荷礼屋本舗
- 2-66P 明昌(株)
- 2-67P (株)スミタ
- 2-68P 日本フレキシコ技術協会
- 2-69P NPO法人 印刷OEM研究会
- 2-70P 学校法人日本プリンティングアカデミー
- 2-71P Japan Color 認証制度事務局
- 2-72P コニカミノルタ(株)
- 2-73P (株)テシコン
- 2-74P ビデオジェット・エックスライト(株)
- 2-75P 新コスモス電機(株)
- 2-76P マコト化学工業(株)
- 2-77P (株)日研化学研究所
- 2-78P コニカミノルタ ビジネスソリューションズ(株)
- 2-79P (社)日本WPA
- 2-80P 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)
- 2-81P 環境保護印刷推進協議会
- 2-82P グリーンプリンティング 認定事務局
- 2-83P 興研(株)
- 2-85P (社) 日本印刷産業連合会(労働衛生)
- (社) 日本労働安全衛生コンサルタント会
- 中央労働災害防止協会
- (株)J SPIRITS
- 2-87P ビー・エス・シー(株)
- 2-88P (株)両毛システムズ
- 2-89P シクス(株)
- 2-90P カーデックス(株)
- 2-91P (株)コムテックス
- 3-1 ホリゾン・インターナショナル(株)
- 3-2 (株)小森コーポレーション

- 3-3 芳野マシナリー(株)
- 3-4 (株)ウチダテクノ
- 3-5 (株)沖データ
- 3-6 ホーヤ カンデオ オプトロニクス(株)
- 3-7 (株)山櫻
- 3-8 (株)尾裕製作所
- 3-9 (有)ピクア
- 3-10 東京印刷機材トレーディング(株)
- 3-11 コニカミノルタ ビジネスソリューションズ(株)
- 3-12 (株)ミューテック
- 3-13 スーパーファックス(株)
- 3-14 (株)新潟フジカラー
- 3-16 (株)シノハラ・ジャパン
- HANS-GRONHI GRAPHIC TECHNOLOGY Co.,Ltd.
- 3-17 (株)金陽社
- 3-18 (株)インターテック
- トレスジャパン(株)
- 3-19 富士製袋機工業(株)
- 3-20 ニッカ(株)
- 3-21 設楽印刷機材(株)
- 3-22 コムネット(株)
- 3-23 明和ゴム工業(株)
- 3-24 アイレック 技建(株)
- (株)レザック
- 3-25 (株)東洋化学商会
- 3-26 (株)ミューテック
- 3-27 シナジャーコミュニケーションズ(株)
- 3-28 伊原電子工業(株)
- 3-29 伊原電子工業(株)
- 3-30 (株)藤堂製作所
- 3-31 (株)コスモサウンド

- 3-32 (株)此花
- 3-33 (株)大西機械
- (株)メニ・テック
- 3-34 (有)メニ・テック
- 3-35 (有)エクセル・タム
- 3-36 (株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン
- 3-37 (株)伸興
- 3-38 (株)インターコスモス
- 3-39 ケイズカンパニー(株)
- イメージング ソリューションズ
- フンケラー
- ポグラマ
- 3-40 兼房(株)
- 3-41 (株)芝橋
- 倉敷紡績(株)
- 3-42 東邦精機(株)
- 3-43 (株)ショーフ
- 3-44 日本欄野工業(株)
- 3-45 (株)加貫ローラ製作所
- 3-47 (株)光文堂
- 3-48 富士機械(株)
- 3-49 (株)勝田製作所
- 3-50 (株)サンワークケン
- 3-51 ビービーエム(株)
- 3-52 (株)いけうち
- 3-53 ウエブテック(株)
- 3-54 公益財団法人東京都中小企業振興公社
- 3-55 (株)ヒューテック
- (株)ジェピック
- 3-56 (株)ジェピック
- 3-57 (株)ケイ・ジー・ケイ
- 3-58 (有)ナガノ機械

- 3-59 浜松ホトニクス(株)
- (株)サンライズ カンパニー
- 3-60 (株)トライヤーン
- 3-61 (株)アルファアーク
- 3-62 (株)アルファアーク
- 3-63 アラム(株)
- 3-64 クルツジャパン(株)
- 3-65 プラザ販売(株)
- 3-66 プリントネット(株)
- 3-67 (株)正栄機械製作所

海外出展者

- 1-52C TAYI YEH MACHINERY Co.,Ltd.
- 1-53C Printing and Printing Equipment Industries Association of China
- 1-54C Shenzhen Lamplic Science Co.,Ltd.
- 1-55C LEUNG CHONG KEE MACHINE FACTORY LTD.
- 1-58C YII LEE ENTERPRISE Co.,Ltd.
- 3-15 ジーグラーペーパー
- 3-46 Isaberg Rapid AB
- 3-68 Phoseon Technology

印刷機材団体協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館
 一般社団法人 日本印刷産業機械工業会内

会長	宮腰 巖	一般社団法人 日本印刷産業機械工業会
副会長	渥美 守弘	プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会
	樋口 恭司	一般社団法人 日本印刷産業機械工業会

事務局

代表幹事	広常 猛	印刷機材団体協議会
幹事	沼尾 佳憲	(株) 印刷出版研究所
幹事	難波 利行	プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会
事務局	加瀬 元禮	印刷機材団体協議会
事務局	塩澤 登志夫	印刷機材団体協議会

今後の開催予定

IGAS2015

2015年 9月開催予定

東京ビッグサイト

JGAS 2013

Japan Graphic Arts Show 2013

事業報告書

発行 印刷機材団体協議会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8(機械振興会館) (社)日本印刷産業機械工業会内
TEL:03(3434)2656 FAX:03(3434)0301

非売品